

野菜残渣敷き込み栽培の様子（ 卓上試験 ）



2011. 02. 07
「カルスNC-R と 米ぬか」の混合培土に野菜クズを攪拌し、花瓶の中に押し込み、圃場で野菜残渣を敷き込んだ。作物残渣利用の条件を再現した。



2011. 02. 10
残渣敷き込み施用後 3日目



早くも、微生物の活動が活発化している様子が窺える



2011. 02. 14
残渣敷き込み施用後 7日目
レタス苗定植



さらに、微生物の活動が活発化している様子が窺える



2011. 02. 21
残渣敷き込み施用後 14日目



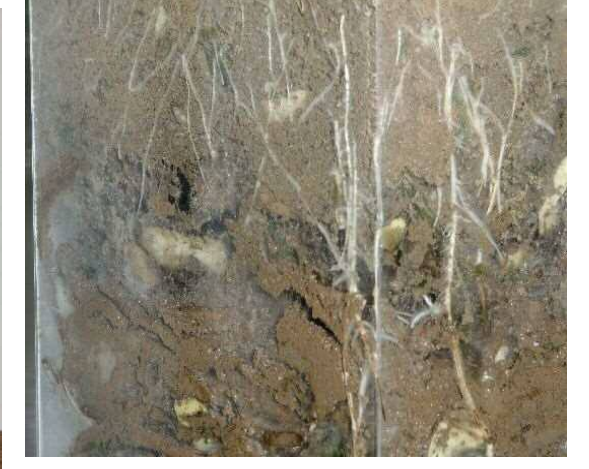
野菜残渣の分解はさらに進み、地上部では定植後7日目のレタスが成長。地下部では、分解中の野菜残渣めがけてレタスの根の伸長が活発に。



↑↑↑ 野菜の分解が進んでいる様子が分かりますね！



2011. 02. 24
残渣敷き込み施用後 17日目
分解中の野菜残渣など構わずに、急速な根の伸びが見られるようになる。



地上部は → 生育旺盛！
地下では、 ← 根の伸びが順調！！
もちろん、 → 野菜の分解も順調！！！！



2011. 03. 04
残渣敷き込み施用後 25日目

野菜残渣の分解が最終段階に入ったか、野菜の詰まっていた部分の花瓶内に空洞が生じた。



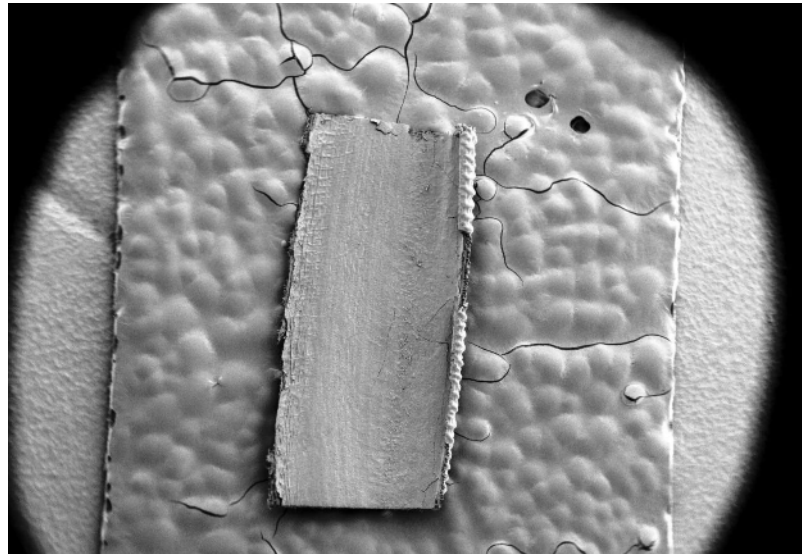
2001. 03. 08
残渣敷き込み施用後 29日目



野菜が分解し変色、空洞が陥没した部分

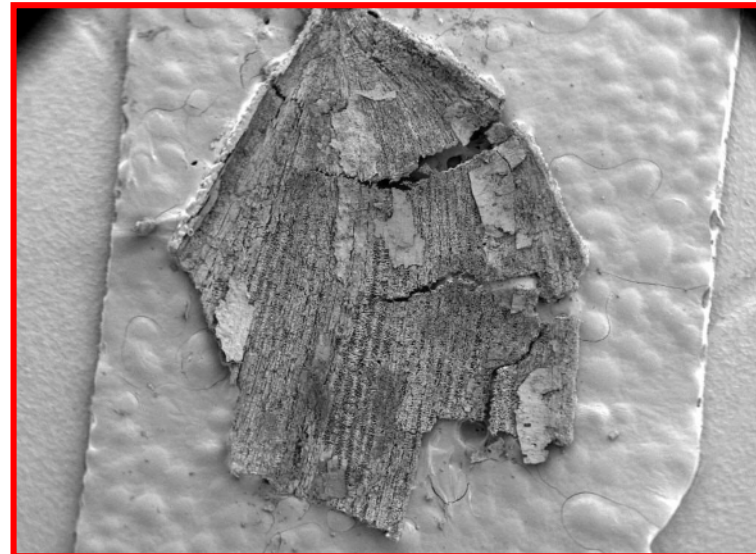
電子顕微鏡によるモミガラ分解の比較写真

生モミガラ



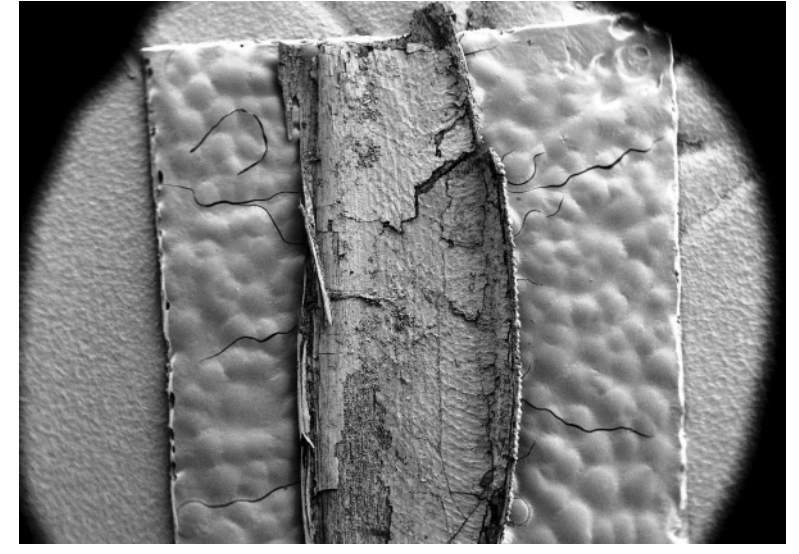
倍率 20 倍

カルスNC-R施用区

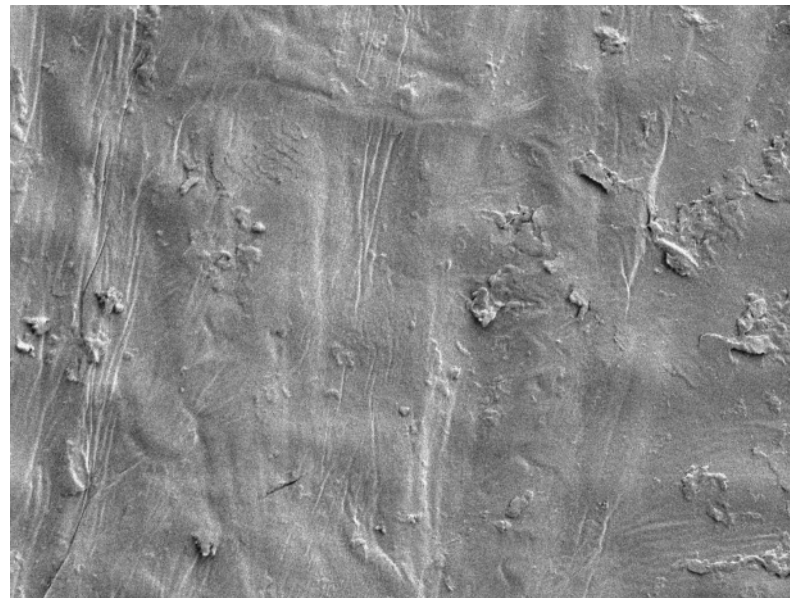


倍率 20 倍

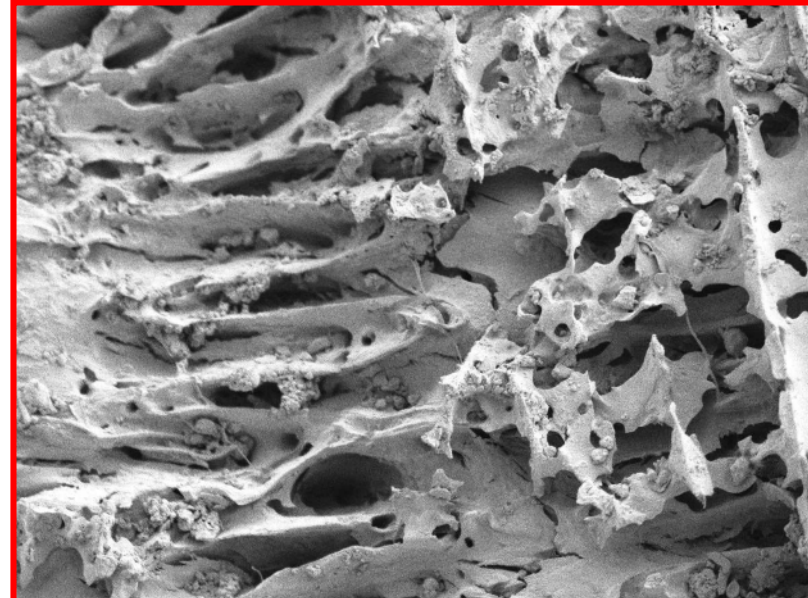
無施用区



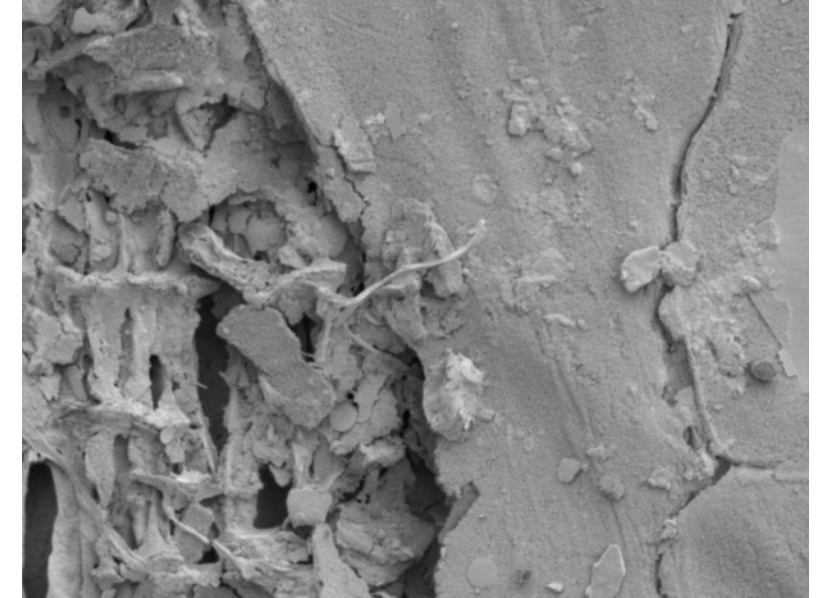
倍率 20 倍



倍率 1, 000 倍



倍率 1, 000 倍



倍率 1, 000 倍